

多摩地域の市民活動交流会 報告

エシカルをつくる人、売る人、使う人

～地域の中でつながってみよう～

日時:2019年7月5日 10:30~13:00

会場:東京都多摩消費生活センター

参加者:33名

主催:多摩地域の消費者団体交流会実行委員会  
東京都消費者月間協賛事業

今回の交流会は、前半に2つの団体から、地域の中でどんなつながりが作れるのか、周りの人を巻き込む工夫などの報告を聞き、後半は「エシカル、誰とどんな風につながるか」を、ワークショップ形式で交流しました。グループ発表では「顔の見える関係、地域のコミュニティの場を設ける」「異世代交流の出来る場で、知恵の交換」「SNSを活用した情報交換の場」などのアイデアが出されました。



司会:村橋 悠さん  
多摩パブリック法律事務所



東京都消費生活総合センター活動推進課長  
馬淵 奈穂子さん

**開会挨拶:** 東京都消費生活基本計画では、「SDGs:持続可能な社会の形成に貢献する消費活動の推進」を掲げ、「エシカル消費の理解、普及啓発」等、消費者団体、市民団体の皆様と協働し取り組んでいます。本日の交流会の報告やワークショップも参考にさせていただきたいです。皆様とのつながりや活動の更なる広がりを願っています。

プログラム

✧エシカルについての説明

✧取り組み報告

・八王子市 ユギムラ牧場

・立川市 狭山園

✧ワークショップと発表

エシカル消費について

多摩コンシューマーズ・ネットワーク 五十嵐 ちづ子さん

エシカルとは、直訳すると「倫理的消費」という意味で、「人や社会、環境に配慮した消費行動」のことをエシカル消費といいます。

私たちの生活に近づけて考えると、買う時や使う時に「安さ」とか「便利さ」「可愛さ」「カッコ良さ」だけでなく、人や社会、環境に配慮した商品を選んで消費しましょうということです。



八王子市 ユギムラ牧場

報告者:鈴木 亨さん



父の代からの土地で、農薬や化学肥料を使用しない農業や、誰もがいつでも来られる「農業体験農園」、農業と福祉を基軸とした農園づくりで、里山保全と総合福祉のまちづくりを進めています。また、農業を目指す若者の、就農支援も行っています。まちづくりは一人では出来ない、人と関わることでまちづくりは出来る。自分も、いろいろな人と出会い、つながっていくことで「まちづくりのデザイン」を描き、進めてきました。

最近、進みはじめたエコ活動。その取り組みを10年前から商店街の女将さん会を中心に実践しています。マイバッグやマイ容器、通い缶でプラスチックゴミを削減したり、茶殻を回収・乾燥させて有機肥料にするなどエコ活動に取り組んでいます。

地域レベルから更なる広がりを考えると、これからは大企業や大型店、生産者と共にゴミをゴミにしない取り組み、システムの構築が重要と考えています。



立川市 狭山園

報告者:池谷 和子さん



東京都多摩消費生活センター所長 宮本智次郎さん

多くの方々と関わりながら、幅広く活動されている様子をうかがうことができ、行政といたしましても今後の取組に活かしていければと思っております。多摩消費生活センターにおきましても、皆様の活動に何らかのご支援ができればと思っております。

閉会挨拶



清瀬市消費者団体連絡会 八代田道子さん

地域での人と人とのつながり、は非常に大切。ですが、どうしたらつながれるのか。お話を聞いて、とても参考になりました。こんな風に、うまくつながっている所があるよと、今日のお話を紹介しながら、地域のつながりをもっとと思いました。